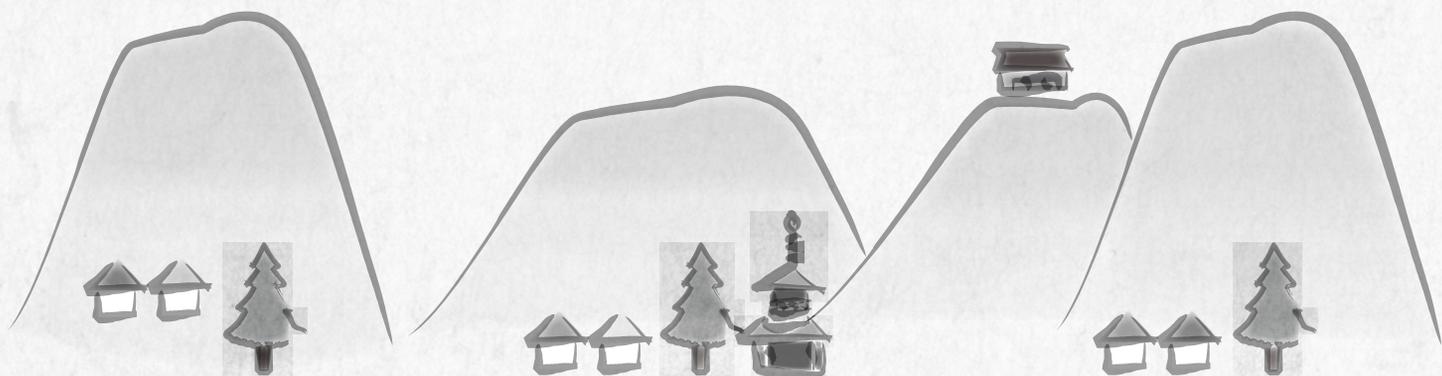




2018 高野町町勢要覧

統計資料編



自然

◆ 位置

役場の位置			町域の広さ		
東経	北緯	標高	東西	南北	総面積
135°35′	34°12′	824m	約22km	約12km	137.03km ²

◆ 土地

(平成29年度統計年鑑、単位:km²)

総面積	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他
137.03	1.0	1.3	0.6	98.7	2.5	0.5	20.3

◆ 山・川

山							
名称	陣ヶ峰	楊柳山	摩尼山	転軸山	弁天岳	天狗嶽	七霞山
標高(m)	1,106	1,009	1,004	916	985	968	891

川				
名称	丹生川	有田川	貴志川	不動谷川
延長(km)	20.0	17.5	15.0	7.0



人口

◆ 人口・世帯数の推移

(国勢調査、単位:人、世帯)

年次	人口				世帯数
	町村名	男	女	計	
昭和 3年	高野	4,285	3,257	7,542	1,493
	富貴	1,209	1,152	2,361	503
	計	5,494	4,409	9,903	1,996
5年	高野	4,812	3,611	8,423	—
	富貴	1,221	1,177	2,398	—
	計	6,033	4,788	10,821	—
10年	高野	4,595	3,579	8,174	1,640
	富貴	1,201	1,146	2,347	498
	計	5,796	4,725	10,521	2,138
15年	高野	4,222	3,329	7,551	—
	富貴	1,218	1,204	2,422	—
	計	5,440	4,533	9,973	—
20年	高野	3,809	3,964	7,773	1,676
	富貴	1,405	1,555	2,960	606
	計	5,214	5,519	10,733	2,282
25年	高野	3,580	3,483	7,063	1,570
	富貴	1,376	1,347	2,723	549
	計	4,956	4,830	9,786	2,119
30年	高野	3,931	3,550	7,481	1,585
	富貴	1,359	1,362	2,721	557
	計	5,290	4,912	10,202	2,142
35年	—	4,766	4,558	9,324	2,152
40年	—	4,711	4,395	9,106	2,135
45年	—	3,903	3,701	7,604	2,139
50年	—	3,967	3,554	7,521	2,186
55年	—	3,894	3,342	7,236	2,384
60年	—	3,853	3,201	7,054	2,299
平成 2年	—	3,646	2,965	6,611	2,568
7年	—	3,536	2,850	6,386	2,708
12年	—	2,838	2,517	5,355	2,184
17年	—	2,414	2,218	4,632	1,876
22年	—	2,043	1,932	3,975	1,788
27年	—	1,745	1,607	3,352	1,468

◆ 大字別人口

(平成27年国勢調査、単位:人、世帯)

大字名	人口	世帯数
高野山	2,539	1,051
西郷	50	31
細川	101	48
花坂	151	58
湯川	20	12
相ノ浦	20	13
大滝	11	7
西ヶ峰	3	2
林	9	4
南	12	8
平原	0	0
檜原	2	1
東又	1	1
杖ヶ藪	9	7
東富貴	232	86
西富貴	127	99
上筒香	35	23
中筒香	15	8
下筒香	15	9
合計	3,352	1,468



財政

◆ 一般会計決算の推移

(単位:千円)

年度	決算額
昭和20年度	162
30年度	36,813
40年度	268,082
50年度	1,086,249
60年度	2,456,127
平成 7年度	4,111,935
12年度	3,900,342
17年度	3,188,364
22年度	3,817,154
24年度	3,463,406
27年度	4,222,456
29年度	3,758,679

◆ 町税収額の推移

(単位:千円)

年度	決算額
昭和20年度	99
30年度	16,310
40年度	37,067
50年度	116,759
60年度	397,350
平成 7年度	476,340
12年度	440,061
17年度	380,529
22年度	391,718
24年度	372,135
27年度	367,560
29年度	361,072

◆ 平成29年度 各会計 歳入歳出 決算収支の状況 (単位:千円)

会計名	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	差引額(A)-(B)
一般会計	3,925,290	3,758,679	166,611
国民健康保険特別会計	666,322	563,622	102,700
国保富貴診療所特別会計	102,914	91,752	11,162
簡易水道特別会計	32,844	24,959	7,885
富貴財産区特別会計	5,095	4,749	346
下水道特別会計	308,174	300,595	7,579
農業集落排水事業特別会計	10,788	8,760	2,028
介護保険特別会計	582,906	557,177	25,729
生活排水処理事業特別会計	18,057	16,804	1,253
高野山総合診療所特別会計	315,692	283,434	32,258
後期高齢者医療特別会計	146,806	141,895	4,911
合計	6,114,888	5,752,426	362,462

◆ 平成30年度 会計別当初予算額 (単位:千円)

会計名	予算額(骨格)	予算額(肉付後)
一般会計	3,457,000	3,568,200
国民健康保険特別会計	528,000	
国保富貴診療所特別会計	77,000	
簡易水道特別会計	39,000	
富貴財産区特別会計	4,800	
下水道特別会計	421,000	
農業集落排水事業特別会計	9,700	
介護保険特別会計	547,000	
生活排水処理事業特別会計	16,700	
高野山総合診療所特別会計	298,000	
後期高齢者医療特別会計	128,000	
水道事業会計(公企)	174,111	
合計	5,700,311	



産業

◆ 産業別就業人口の推移

(国勢調査、単位:人)

区分		年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度
第1次	農業		217	167	136	92	70	39
	林業		85	69	30	37	29	17
	漁業		0	0	0	0	0	0
第2次	鉱業		0	0	0	0	0	0
	建設業		228	244	192	157	127	81
	製造業		332	233	235	161	142	127
第3次	卸小売業		801	710	613	424	348	307
	金融保険不動産業		43	38	17	17	20	10
	運輸通信業		163	126	118	78	76	39
	電気・ガス水道業		10	12	11	17	7	4
	サービス業		1,045	1,167	1,008	1,177	1,061	973
	公務		111	123	122	99	105	100
	分類不能の産業		1	8	4	11	4	37
総数			3,036	2,897	2,486	2,270	1,989	1,734

..... 農業

◆ 農家数の推移

(農林業センサス)

年度	区分	総農家数(戸)	販売農家(戸)			自給的農家	
			農家数	専業農家	第1種兼業		第2種兼業
平成12年度		214	92	36	15	41	122
17年度		171	55	29	5	21	116
22年度		156	48	29	3	16	108
27年度		122	37	22	1	14	85

◆ 経営耕地面積

(市町村別統計数値、単位:ha)

年次	区分	田畑計	田	畑			
				小計	普通畑	樹園地	牧草地
平成28年		87	34	53	-	-	-

..... 林業

◆ 林野面積

(平成30年度和歌山県森林・林業および山村の概況)

総面積(ha)	森林率(%)	国有林面積(ha)	民有林				人工林率(%)
			面積(ha)	人工林(ha)	天然林(ha)	その他(ha)	
13,703	94	2,218	10,698	8,401	2,243	54	79



福祉

◆ 国民健康保険・後期高齢者医療の加入状況

(平成30年7月31日現在、単位:人)

一般被保険者	退職被保険者等	後期高齢者医療対象者	国保加入者以外	合計
910	4	795	1,387	3,096

◆ 国民健康保険一人あたりの医療費の状況

(平成28年度和歌山県の国保の状況より、単位:円)

年度	区分	医療費
平成28年度		296,331

◆ 介護保険第1号被保険者数

(平成30年7月31日現在、単位:人)

前期(65歳以上75歳未満)	後期(75歳以上)	計
539	832	1,371

◆ 介護保険要介護(要支援)認定者数

(平成30年7月31日現在、単位:人)

第1号被保険者			第2号被保険者 (65歳未満)	総数
前期(65歳以上75歳未満)	後期(75歳以上)	小計		
25	328	353	6	359

◆ 第1号被保険者1人あたりの介護給付費(介護予防含む)

(単位:円)

年度	区分	被保険者数	居宅介護サービス費	地域密着型 介護サービス費	施設介護サービス費	合計
平成29年度		1,387	133,073	45,059	152,767	330,899

◆ 園児数・保育児数の状況

(平成30年4月1日現在、単位:人)

高野山こども園					
1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4	15	18	16	16	69



教育・文化財

◆ 学校教育

(平成30年4月1日現在)

学校名	設立年月日	校地面積(m ²)	学級数	生徒数(人)
高野山小	明治39.12.28	9,868	6	95
高小大滝分	大正 元. 9. 1	690	—	廃校(平成3.3)
高小高根分	明治 9.10.14	2,977	—	廃校(平成13.3)
白藤小	明治11. 3.10	2,361	—	廃校(平成20.3)
西細川小	明治13. 4.12	1,960	—	廃校(平成17.3)
花坂小	明治 8. 9.23	2,754	3	3
湯川分	明治35.12. 3	1,094	—	廃校(平成16.3)
相ノ浦小	明治36. 4. 1	1,686	—	廃校(平成16.3)
富貴小	明治 9. 1.15	6,585	—	休校
筒香小	明治 9. 1.15	3,184	—	廃校(平成24.6)
杖ヶ敷小	明治 9. 2. 6	1,483	—	廃校(平成3.3)
計	—	—	9	98
高野山中	昭和22. 5. 3	30,086	3	39
富貴中	昭和22. 5. 3	3,679	1	2
筒香中	昭和22. 5. 3	307	—	廃校(平成9.3)
計	—	—	4	41

◆ 学校教育

(平成30年4月1日現在)

種別	国		県指定	町指定	計		
	指定	登録					
記念物	史跡	3	0	5	2	10	
	名勝	1	6	2	0	9	
	天然記念物	0	0	3	0	3	
	建造物	13	13	5	0	31	
有形文化財	美術工芸品	彫刻	55	0	2	0	57
		絵画	57	0	12	0	69
		書跡・典籍	37	0	3	0	40
		歴史資料	2	0	0	0	2
		工芸品	32	0	10	0	42
		古文書 考古資料	5 2	0 0	0 1	0 0	5 3
計	207	19	43	2	271		



建設

◆ 道路の状況

(一般国道・県道は平成28年4月1日現在、町道は平成30年4月1日現在)

区分	路線数	実延長(m)	舗装済延長(m)	
一般国道	3	50,508	50,508	
県道	4	26,554	22,048	
町道	一級町道	19	48,217	47,910
	二級町道	16	30,230	21,166
	その他	179	91,652	53,175
	小計	214	170,099	122,251

◆ 町営住宅

(平成30年4月1日現在)

団地名	建設年	構造	戸数(戸)
うぐいす谷1号棟	2004(平成16)年	中層耐火3階建	18
うぐいす谷2号棟	2007(平成19)年	中層耐火3階建	21
うぐいす谷3号棟	2010(平成22)年	木造2階建	8
		木造平屋建	7
紫雲	1974~1976(昭和49~51)年	簡易耐火2階建	46
細川	1977~1982(昭和52~57)年	簡易耐火2階建	26
凌雲	1977~1980(昭和52~55)年	中層耐火3階建5棟	92
		中層耐火4階建2棟	
桜	1983~1985(昭和58~60)年	中層耐火3階建2棟	24
計	—	—	242

◆ 上水道

(平成30年3月31日現在)

高野山 上水道	竣工年月	計画給水人口 (人)	給水戸数 (戸)	給水人口 (人)	富貴 簡易水道	給水戸数 (戸)	給水人口 (人)	神谷 簡易水道	給水戸数 (戸)	給水人口 (人)
	昭和11.10	5,500	1,527	2,303		214	345		10	16

◆ 下水道

(平成30年3月31日現在)

	供用開始 年月	処理方法	計画人口 (人)	現在処理人口 (人)	計画面積 (ha)	現在処理面積 (ha)	計画処理能力 (m ² /日)	現在処理能力 (m ² /日)	現在処理水量 (日平均)(m ³ /日)
高野山 公共下水道	昭和11.11	分流式	6,000	—	76.5	—	1,135	—	—
	昭和56.4	分流式	4,600	2,284	143.0	143.0	5,300	3,975	2,865
西細川特定環境 保全公共下水道	平成 9.4	分流式	150	69	8.0	8.0	50	50	20



観光

◆ 観光客の推移

(単位:人)

	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成2年	平成6年	平成10年	平成14年	平成16年	平成19年	平成24年
宿泊	776,181	584,933	416,184	412,093	454,235	322,711	329,116	374,940	313,131	260,867
日帰	523,850	611,445	738,583	824,903	963,917	792,439	804,270	1,082,313	934,529	998,357
計	1,300,031	1,196,378	1,154,767	1,236,996	1,418,152	1,115,150	1,133,386	1,457,253	1,247,660	1,259,224



選挙

◆ 有権者数の推移

(単位:人)

年次	昭和8年	昭和30年	昭和40年	昭和51年	昭和60年	平成4年	平成9年	平成13年	平成18年	平成21年	平成25年	平成29年
男	—	2,046	2,757	2,443	2,308	2,158	2,104	1,922	1,733	1,669	1,500	1,347
女	—	2,063	2,840	2,594	2,473	2,333	2,249	2,115	1,928	1,851	1,622	1,477
計	衆議院 1,599 町会 1,571	4,109	5,597	5,037	4,781	4,491	4,353	4,037	3,661	3,520	3,122	2,824



消防

◆ 人員・車両・消防水利等の現況

(平成30年4月1日現在)

消防本部(署)	条例定数(人)	21
	定員(人)	20
	指令車(台)	1
	水槽付きポンプ車(台)	1
	救助工作車(台)	1
	救急車(台)	2
	軽四積載車(台)	2
消防団	分団数(分団)	3
	団員総数(人)	214
	うち女性消防団員数(人)	27
	水槽付きポンプ車(台)	2
	ポンプ車(台)	4
	小型動力ポンプ付積載車(台)	15
	可動式送水装置(台)	9
公設・私設消火栓(基)		162
公設・私設防火水槽(基)		70



病院・診療所

◆ 高野町立高野山総合診療所

(平成30年8月31日現在)

開設	昭和27年4月1日(平成24年4月診療所になる)
病院新築	昭和41年10月3日
建物	鉄筋コンクリート2階建 2,015.16m ²
病床数	2床
診療科目	内科・小児科・外科・眼科(院内標榜=総合診療科)
職員数	非常勤医師6名 看護師10名 非常勤看護師2名 看護助手1名 診療放射線技師1名 臨床検査技師1名 非常勤検査師1名 事務職員4名 当直員2名

◆ 国保富貴診療所

(平成30年8月31日現在)

職員数	医師1名 看護師2名 事務職員1名
-----	-------------------



あゆみ

- 昭和3年 町制を施行。高野町発足(11/1)
高野町452番地に役場を置く
- 昭和4年 高野鉄道(現南海電鉄)極楽橋まで開通
富貴～五条間に乗合自動車が開設
- 昭和5年 南海電車ケーブルカーが開通
- 昭和9年 御遠忌(4/2～5/21)、今の金堂ができる
- 昭和11年 高野山上下水道完成、供用を開始(10/1)
- 昭和12年 今の大塔ができる
- 昭和22年 新制中学校(富貴中、筒香分5/3、高野山中5/3、花坂分5/5、杖ヶ敷分5/9、相ノ浦分、湯川分23年4/12、大滝分24年12/1)が開校
- 昭和24年 高野町の歌制定
- 昭和27年 高野町教育委員会発足(11/1)
- 昭和28年 未曾有の大水害により杖ヶ敷小学校舎の損壊を始め、災害復旧額2億円を超える(7/18)
- 昭和29年 神谷簡易水道完成(4月)
- 昭和30年 南海バス山内乗り入れ開始
富貴小学校舎完成(11/3)
- 昭和32年 橋本警察署高野警部派出所となる(4/1)
- 昭和33年 町村合併促進法に基づき、富貴村と合併し、新高野町となる(6/1)
富貴支所を東富貴202番地に置く
富貴保育所開所(6/1)
- 昭和35年 富貴簡易水道完成(3月)
高野山有料道路全線開通(7/20)
- 昭和37年 相ノ浦小新校舎完成(6/26)
高野町新庁舎完成(11/12)
役場位置が高野山636番地となる
高野町章を公募制定する(10/1)
- 昭和38年 第1期公営住宅建設5ヵ年計画、うぐいす谷団地53戸の建設に着手(44年全戸完成)
- 昭和40年 高野地区電話が自動となる(2/8)
開創1150年記念大法会(4月)
- 昭和41年 厚生病院新築完成、高野山病院と改称(10/1)
- 昭和42年 高野龍神国定公園の指定を受ける(3/23)
- 昭和43年 高野山統合中学校第1次敷地造成工事が自衛隊第101建設大隊により完成(11月)
- 昭和44年 花坂へき地保育所開所(10/1)
- 昭和45年 高野山統合中学校開校 5分校を廃止、九度山中委託生も統合(4/1)
- 昭和46年 中央公民館開館(4/1)
皇太子、美智子妃殿下ご来山(9/6・7)
第26回国民体育大会剣道、山岳競技の開催地となる(10/21～27)
- 昭和47年 第2期公営住宅建設5ヵ年計画、紫雲団地61戸の建設に着手(51年全戸完成)
- 昭和50年 県道橋本高野～龍神線が国道に昇格、371号となる(4/1)
富貴小、筒香小、高根小、杖ヶ敷小が創立100周年を迎える
- 昭和52年 天皇皇后両陛下下行幸啓(4/18・19)
町石道が史跡指定を受ける(7/14)
総合レク・センター野球場開場、南海・阪神戦挙行(10/1)
公営住宅細川団地10戸完成
- 昭和53年 郷土資料館完成(3月)
総合レク・センタースケートリンク開設(11/30)

昭和54年	凌雲団地28戸完成(3/25) 高野山保育所開所(4/1)	平成16年	うぐいす谷団地(1期)18戸完成(3月) 高野山を含めた「紀伊山地の霊場と参詣道」が、中国蘇州で開催されたユネスコ世界遺産会議において世界遺産登録される(7/1決定、7/7正式登録)	高野町史別巻『高野町の昔と今』発行(3月) 認定こども園開設(4/1) 子育て支援センター開設(4/1) 第9回世界遺産ツーデーマーチ開催(10月) 高野町ふるさと納税システムリニューアル(10月) 中門完成(12月) 丹生神社のトガサワラ、県指定天然記念物に指定(1月)	
昭和55年	凌雲団地28戸、細川団地7戸完成(3/31) 富貴し尿処理場完成(4/1) 高野龍神スカイライン開通(7/20) 地域開発事業(桜団地)自衛隊による造成引き渡し(9/10)、57年1月宅地造成完成分譲開始 高野町消防本部・署発足(4/1)、業務開始(10/1)	平成17年 平成18年	富貴へりポート完成(8/10) 教育委員会事務所を公民館へ移転(5月) 金剛峯寺前トイレ完成(7月) 金剛峯寺第2駐車場完成(8月) 第1回世界遺産高野山ツーデーマーチを開催(9月)	平成27年	国道371号「高野山道路」開通(3/28) 街路灯のLED化事業(3/31) 町営駐車場完成(高野町役場)(3/31) 開創1200年記念大法会(4/1～5/20) 学童保育所開設(4/1) 安倍総理大臣視察(5/16) 秋篠宮同妃両殿下お成り(5/20、21) 「高野町にぎわい創出プレミアム商品券」販売(6/1) 第70回国民体育大会紀の国和歌山国体デモンストレーションスポーツ3B体操開催(8月) 第70回国民体育大会紀の国和歌山国体公開競技(ゲートボール)開催(9月) 高野山大学と友好協定再締結(9/1) ネパール国ルンビニと高野町との「世界遺産都市の文化・観光・相互協定」締結(9/19) 史跡高野山町石道追加指定及び名称変更官報告示(10月) 高野山小学校運動場トイレ改修(10月) 第10回世界遺産ツーデーマーチ(10月) 花坂地区御室御陵(静覚入道親王の墓所)伝承地を町指定文化財に指定(12/15)
昭和56年	公共下水道高野山処理区第1分区(108ha)供用開始(4/1)	平成19年	森林セラピー基地認定取得「世界遺産高野山千年の森一心と体の浄化 空海の歩いた道」(3/22)		
昭和57年	町民体育館完成(3/20) 細川団地9戸完成(3/31) ゲートボール場(うぐいす谷)開設(10/3) 富貴小学校新校舎完成(12/20)	平成20年	うぐいす谷団地(2期)21戸完成(2月) 高野町就学児医療制度スタート(4月) 妊婦検診費用の全面公費負担の開始(4月) 第2子以降にかかる保育料を無料化 長野県高森町と災害時における相互応援に関する協定締結(10/7) 「第1回ゆめづくりまちづくり賞」で「まちづくり賞」を受賞(10/17) 町制施行80周年及び富貴村合併50周年記念式典(11/30)		
昭和58年	桜団地12戸完成(11/25)	平成21年	フランスミシュラン社刊『緑のガイド 日本版』において三つ星を獲得(2月) 高野町景観条例スタート(3月) 高野町史近現代年表発行(6/1) 橋本周辺広域ごみ処理場が稼働(8/1) イタリアアッシジ市と日伊世界遺産都市の文化・観光相互促進協定を締結(10/26)		
昭和59年	高野山会館約5億円を投じ完成、落成式を挙行(3/3) 弘法大師御入定1150年御遠忌大法会開白(4/1～5/20)	平成22年	南海電鉄と高野町が国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞(1/19) 高野山病院で予約制の診療がスタート(4月) 高野町観光情報センター開設(7/1) うぐいす谷団地3号棟完成(7月) おおたき山の学校開校(10/10) 戸籍の電算化がスタート(11/1) 高野町ふれあいタクシー運行スタート(11/16)	平成28年	高野町土砂災害ハザードマップ発行(3月) 町道五大連絡線石張舗装完成(3/31) 橋本・伊都地域消防指令センター運用開始(消防職員2名派遣)(4/1) 消防救急無線をアナログ無線からデジタル無線に移行(4/1) 大門南駐車場完成(5/13) 五ノ室無電柱化事業完成(7/6) 中東和平プロジェクトin高野(8/23～29) 高野参詣道(町石道、三谷坂、京大坂道不動坂、黒河道、女人道)が世界遺産追加登録(10/24) 高野町総合防災訓練(11/3) フィットネスジムスタート(11/7) 高野町世界連邦平和宣言(12/15) 通所リハビリ施設改修工事(12/28) 近畿大学との「大学のふるさと協定」締結(2/27) 生涯学習のまち宣言(3/31) 高野町義務教育無償化開始(4/1) 高野町幼児教育(保育料)無償化(4/1) 「まちかどサロン～縁～」開設(5/3) 高野町外出支援福祉タクシー等助成券交付事業(10/1) 観光情報センター(iKOYA)がオープン(7/2) 高野町町制施行90周年並びに富貴村合併60周年記念式典(12/1)
昭和60年	高野町林業センター完成(3/11) 桜団地12戸完成(3/31)				
昭和62年	町の木町の花選定(町の木…高野槇・町の花…石楠花)(4/1) 天皇陛下崩御(1/7)				
昭和64年	天子健康センター完成(8/31)				
平成元年	善通寺市と歴史友好都市を提携(7/27)				
平成2年	高野町じん芥処理センター完成(11月) 上水道新浄水場完成・通水式(8/3) 屋内ゲートボール場建設(コート2面)(3/31) 富貴診療所建設(12/20)				
平成3年	富貴高齢者生活福祉センター建設(3/28)				
平成4年	高野町斎場建設(3/31) 町民憲章制定(11/1)				
平成5年	高野山小学校屋内運動場完成(8/21) 富貴簡易水道新浄水場完成(3/21) 防災行政無線設置(町全域3/31) 高野町保健福祉センター完成(11/7) 農業集落排水施設整備事業(花坂地区)完成、供用開始(4/1)				
平成6年	高野町防災へりポート完成(11月) 特定環境保全公共下水道事業細川地区完成(3/31)	平成23年	高野町史資料編発行(3/31) 夢たまご・ハイランドタクシー運行スタート(4/1) 中央公民館図書室オープン(6/15) 高野町シルバー人材センター設立(8/1)		
平成7年	高野町防災へりポート完成(11月)	平成24年	高野町史民俗編発行(3/21) 高野町地域防災計画発行(3/30) 高野山病院が高野山総合診療所に(4/1) 国道480号(高野山道路)工事着工(4月) 学校給食無償化開始(4月) 高野山小学校プール温水設備工事完了(6月) こうやくん観光・広報大使就任(8/1) 第4回子ども議会開催(8月) 台風18号により大水害が発生(9/16) 高野山中学校屋内運動場床不陸工事完了(3月)	平成29年	
平成8年	富貴簡易水道新浄水場完成(3/21)				
平成9年	防災行政無線設置(町全域3/31)				
平成10年	高野町保健福祉センター完成(11/7) 農業集落排水施設整備事業(花坂地区)完成、供用開始(4/1)				
平成11年	高野町防災へりポート完成(11月) 特定環境保全公共下水道事業細川地区完成(3/31)				
平成12年	高野地域を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が、国内の世界遺産暫定リストに登録される(11/17) ゲンジの森整備のため国有林5.7ha追加購入(12月)				
平成13年	「紀伊山地の霊場と参詣道」が、ユネスコの世界遺産暫定リストに登録される(4/6) 和歌山県内においてユネスコアジア・太平洋における信仰の山文景観に関する専門家会議が開催され、本町でも記念フォーラム及び現地視察が開催される(9/8・9) 環境省かおり風景100選選定「高野山奥の院の杉と線香」(11/12)				
平成14年	熊野参詣道「小辺路」が国の史跡指定を受ける(12月)				
平成15年	高野山病院改修 病床数52床→43床、特殊機能室、機能回復訓練室				



歴代町村長・助役・副町長・収入役・議長

◆ 村長

旧高野村			
初代	楠 秀 遷	7代	高 迫 久四郎
2代	喜 多 圭 旭	8代	平 田 永 吉
3代	高迫 久右工門	9代	森 谷 伊勢松
4代	奥 田 熊太郎	10代	清 水 喜三郎
5代	森 田 政 吉	11代	安 井 繁 一
6代	恩 賀 忠 楠	12代	西 田 安 松

旧富貴村			
初代	岡 室 長三郎	11代	上中居 正 治
2代	前 谷 庄三郎	12代	新 谷 栄一郎
3・10代	松 葉 孝次郎	13・18代	中 元 寅之助
4・7代	名 迫 行 輝	15代	田 村 豊 楠
5・8・16代	森 脇 岩之助	17代	皿 谷 竹 松
6・9・14代	中 元 房太郎	19代	松 葉 兼 一

◆ 町長

代	氏名	就任年月日	在職期間	代	氏名	就任年月日	在職期間
初代	西 田 安 松	昭和 3.11. 1	4年11ヵ月	9代	松 本 英太郎	昭和29.10.12	1年11ヵ月
2代	玉 置 政次郎	昭和 8. 8.28	3年11ヵ月	10代	出 水 重 一	昭和31. 9.22	8年 0ヵ月
3代	藤 本 真 光	昭和12. 7.22	2年 4ヵ月	11代	徳 富 義 孝	昭和39. 9.22	20年 0ヵ月
4代	井 上 栄 吉	昭和14.12.12	3年10ヵ月	12代	西 田 正 弘	昭和59. 9.22	20年 0ヵ月
5代	楠 公 雄	昭和18. 9.15	11ヵ月	13代	後 藤 太 栄	平成16. 9.22	5年 6ヵ月
6代	水 木 定 市	昭和19.11. 1	2年 1ヵ月	14代	木 瀬 武 治	平成22. 5.16	3年11ヵ月
7代	後 藤 義 応	昭和22. 4. 8	3年 5ヵ月	15代	平 野 嘉 也	平成26. 5. 1	現在
8代	森 谷 勲	昭和25.10.12	4年 0ヵ月				

◆ 助役・副町長

代	氏名	就任年月日	在職期間	代	氏名	就任年月日	在職期間
初代	田 中 槌之助	大正14. 6.24	9年 0ヵ月	11代	牧 野 隆 夫	昭和35.10. 1	4年 0ヵ月
2代	中 林 光三郎	昭和 8. 6.24	2年 2ヵ月	12代	西 田 正 弘	昭和39. 9.30	20年 0ヵ月
3代	田 中 槌之助	昭和10. 9. 9	3年 3ヵ月	13代	梅 野 和 夫	昭和59.10. 1	3年 0ヵ月
4代	井 上 栄 吉	昭和14. 6.22	6ヵ月	14代	田 中 公 雄	昭和63.10. 1	8年 0ヵ月
5代	半 田 福 松	昭和15. 8. 6	4年 1ヵ月	15代	上 東 健 司	平成 8.10. 1	8年 0ヵ月
6代	水 木 定 市	昭和18. 9.20	1年 1ヵ月	(副町長)			
7代	指 尾 省之輔	昭和19.12. 8	2年 4ヵ月	16代	高 橋 寛 治	平成16.10. 1	5年 8ヵ月
8代	森 谷 勲	昭和22. 7. 1	3年 2ヵ月	17代	中 島 紀 生	平成23. 5.12	3年 0ヵ月
9代	縦 木 義 雄	昭和25.12. 5	4年 0ヵ月	18代	西 上 邦 雄	平成26.10. 1	現在
10代	小佐田 茂 雄	昭和30. 2.21	5年 7ヵ月				

◆ 収入役

代	氏名	就任年月日	在職期間	代	氏名	就任年月日	在職期間
初代	真 伯 義 浩	昭和 3. 2.27	5年 0ヵ月	7代	堀 武 二	昭和19.12. 8	8年 0ヵ月
2代	瀬 越 郁三郎	昭和 8. 9. 7	3年 6ヵ月	8代	小佐田 茂 雄	昭和27.12. 7	2年 2ヵ月
3代	中 西 信 義	昭和12. 3.16	3年 0ヵ月	9代	上 西 奎之助	昭和30. 2.21	10年10ヵ月
4代	西 村 孝 一	昭和15. 5. 1	1年 0ヵ月	10代	西 田 實	昭和40.12.21	20年 0ヵ月
5代	堀 武 二	昭和16. 6. 1	1年 7ヵ月	11代	谷垣内 安 永	昭和60.12.21	12年 0ヵ月
6代	指 尾 省之輔	昭和18. 5.16	1年 7ヵ月	12代	倉垣内 要 作	平成 9.12.21	6年 9ヵ月

◆ 議長

代	氏名	就任年月日	在職期間	代	氏名	就任年月日	在職期間
初代	内 田 小三郎	—	—	19代	西 辻 頼 数	昭和60. 5. 9	2年 0ヵ月
2代	下 敏 一	昭和22. 5.10	4年 0ヵ月	20代	池 田 聖 三	昭和62. 5. 8	2年 0ヵ月
3代	小 倉 篤 美	昭和26. 5. 4	3年 1ヵ月	21代	富 栴 敏 幸	平成 元. 5. 9	2年 0ヵ月
4代	佐 藤 円 長	昭和29. 6.23	11ヵ月	22代	西 山 茂 之	平成 3. 5.10	2年 0ヵ月
5代	出 水 重 一	昭和30. 5.13	1年 4ヵ月	23代	角 田 陽 一	平成 5. 5.10	2年 0ヵ月
6代	石 井 静	昭和31. 9.28	2年 2ヵ月	24代	新 谷 正 毅	平成 7. 5.10	2年 0ヵ月
7代	中 林 光三郎	昭和33.11.12	6ヵ月	25代	後 藤 太 栄	平成 9. 5. 8	2年 0ヵ月
8代	南 晃	昭和34. 5.11	2年 0ヵ月	26代	霧 谷 輝 司	平成11. 5. 7	4年 0ヵ月
9代	浦 正 雄	昭和36. 5. 4	2年 0ヵ月	27代	宮 口 伯 美	平成15. 5. 8	2年 0ヵ月
10代	松 本 喜 一	昭和38. 5.17	2年 1ヵ月	28代	平 野 一 夫	平成17. 5.12	2年 0ヵ月
11代	富 栴 泰 司	昭和40. 6.11	1年11ヵ月	29代	池 田 聖 三	平成19. 5. 8	1年 5ヵ月
12代	森 寛 恭	昭和42. 5. 9	4年 0ヵ月	30代	西 辻 頼 数	平成20. 9.29	7ヵ月
13代	小 倉 篤 美	昭和46. 5.11	4年 0ヵ月	31代	東久保 秀 人	平成21. 5. 8	2年 0ヵ月
14代	山 本 真 右	昭和50. 5.13	2年 0ヵ月	32代	崎 山 文 雄	平成23. 5. 8	2年 0ヵ月
15代	辻 本 宗三郎	昭和52. 5.11	2年 0ヵ月	33代	負 門 俊 篤	平成25. 5. 9	2年 0ヵ月
16代	中 迫 菊 義	昭和54. 5. 9	2年 0ヵ月	34代	所 順 子	平成27. 5.11	2年 9ヵ月
17代	西 澤 英 司	昭和56. 5. 7	2年 0ヵ月	35代	大 西 正 人	平成30. 5.17	現在
18代	藪 本 寿 紀	昭和58. 5.10	2年 0ヵ月				